
北陸研究データ基盤コンソーシアム活動紹介

笠原 禎也

金沢大学 学術メディア創成センター

研究データ管理スタートアップ支援事業への参画（2023年度～）

研究データ管理スタートアップ支援事業

研究者の行動変容を促す「研究 DX」を推進するため、研究データポリシー策定、研究データマネジメント体制整備といった、研究データ管理のノウハウを中核機関群のもとで構築し、各地域において核となる拠点大学を中心に、各大学・研究機関等の組織に伝搬させていく取り組みです。

文部科学省委託事業「AI等の活用を推進する研究データエコシステム構築事業」

中核機関群

- 司令塔機能を果たし、相談・連絡やデータの解析等を行う。

中核機関群での取り組み

- 研究データ管理のノウハウ構築
- システム提供によるモデル大学支援
- コミュニティ活動支援
- 相談結果のフィードバック
- 他大学の情報共有



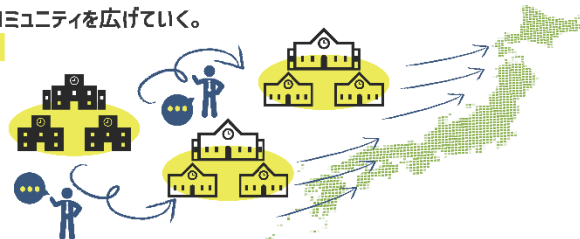
- 迅速な相談、密な連携
- 現状課題の共有

各地域における核となる拠点大学群

- 核となる拠点大学を全国に作り支援。各拠点大学が地域の多様な大学を支援。
- 潜在需要が想定される大学も含め、コミュニティを広げていく。

想定されるコミュニティ内での取り組み

- 課題抽出
 - データマネジメント体制の構築
 - データポリシーの構築
- スキル・ノウハウの蓄積
- 他大学の情報共有



実施状況

今年度

- 本事業は、ルール・ガイドライン整備チーム（リーダー：名古屋大学）が統括する
- 地域ごとに支援機関と複数の被支援機関による支援の仕組み（コンソーシアム体）を設ける
- 支援機関は、令和5年度は名古屋大学（東海地域）、金沢大学（北陸地域）とする

名古屋大学：

「研究データエコシステム東海コンソーシアム」を発足 < 正会員 8 機関、準会員 4 機関が加盟済み >
<https://icts.nagoya-u.ac.jp/ia/information/event/2023-07-21-consortium.html>



金沢大学：

学内に研究データエコシステム整備 WG を設置し、データポリシーの見直しとデータ利活用のためのガイドライン等の整備を実施

来年度以降

- 対象地域の拡大を目指す



NII 国立情報学研究所
National Institute of Informatics

AI等の活用を推進する研究データエコシステム構築事業

https://www.nii.ac.jp/creded/nii_ac_jp_creded.html

🔍 研究データエコシステム

https://www.nii.ac.jp/creded/poster04_NII-RDES.pdf

北陸ファシリティ・技術人材ネットワーク ファシリティデータベース

石川県工業試験場★
石川県警察科学捜査研究所★

製品評価技術基盤機構●

中小機構●

中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋●

金沢医科大学★

富山県産業技術研究開発センター●

富山県立大学●

富山大学★

石川県立大学●

北陸先端科学技術大学院大学★

福井県工業試験センター●
福井大学★

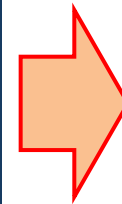
福井県立大学●

金沢大学

★ 本事業協力機関

● ネットワーク参画機関

(金沢大学 研究基盤統括本部)



北陸コアファシリティ
連携で築いたネット
ワークを発展させ、
北陸地区の研究機関の
研究データ管理体制を
構築

データベース各機関の
設備・サービスと技術者
情報が検索可能

北陸研究データ基盤コンソーシアム (2024.7~)



<https://dri.w3.kanazawa-u.ac.jp/consortium/>

加入資格

北陸地区か否かを問わず、国公立大学、
高等専門学校、公的研究機関その他の
学術研究機関、又はこれらの機関の部署

加入機関

15機関(うち北陸地区9機関)

活動内容

- ・セミナーなどを通じた情報共有・意見交換
(**年2回の頻度**で実施)
- ・ルール・ガイドライン整備に必要な**資料提供**、
加入機関向け個別サポート etc.

北陸研究データ基盤 コンソーシアム

利用者別

コンソーシアム会員

コンソーシアム入会希望

イベント参加希望

目的別

北陸研究データ基盤コンソーシアムとは

これまでのイベント

これからのイベント

コンソーシアム会員機関一覧

入会申し込み

金沢大学の研究データ保管・活用
(学術データ管理基盤システムARCADE2)



北陸研究データ基盤
コンソーシアムとは



これまでのイベント
これからのイベント



コンソーシアム会員機関



会員募集中



資料一覧



会員向けページ
(会員限定)

参考サイト

金沢大学学術データ管理
基盤システムARCADE2

内閣府科学技術・イノベーション
事務局「研究DX」ホームページ

AI等の活用を推進する研究データ
エコシステム構築事業

全国の地域コンソーシアム
(研究データ管理スタートアップ
支援事業)

系統的に「研究データ管理」を勉強し
たい方へ

令和7年度科研費
研究データの管理・活用について

研究データエコシステム
東海コンソーシアム

北陸ファシリティ・技術人材
ネットワーク

資料一覧

北陸地区拠点校として行うべきことは何か？

- ▶ 研究データポリシーを制定する(2025年までに策定率100%)
 - ▶ 外部向けにデータポリシーを公開
本学は実施済(2022.3制定, 国内6番目)
→ より具体的な指針・方法へとブレークダウンした内容に改訂
 - ▶ **ポリシーに実効性を持たせるための具体的な実施手順**(DMP作成、データ公開手順 etc.)
を整備(実施細則・ガイドラインと、関連文書群の制定)
- ▶ 各研究者が研究テーマ毎にDMPを作成し、それを管理する**手順を支援** (DMP:データマネジメントプラン)
(特にAMED、JST、科研費などの外部資金は必須)
 - ▶ DMP管理やデータ公開のための**ワークフローを整備**(研究者・事務担当者の負荷軽減)
- ▶ 研究データ(メタデータ含)を公開し、リポジトリなどで検索可能とする
 - ▶ **データ公開・提供等の基準・手順を規定**

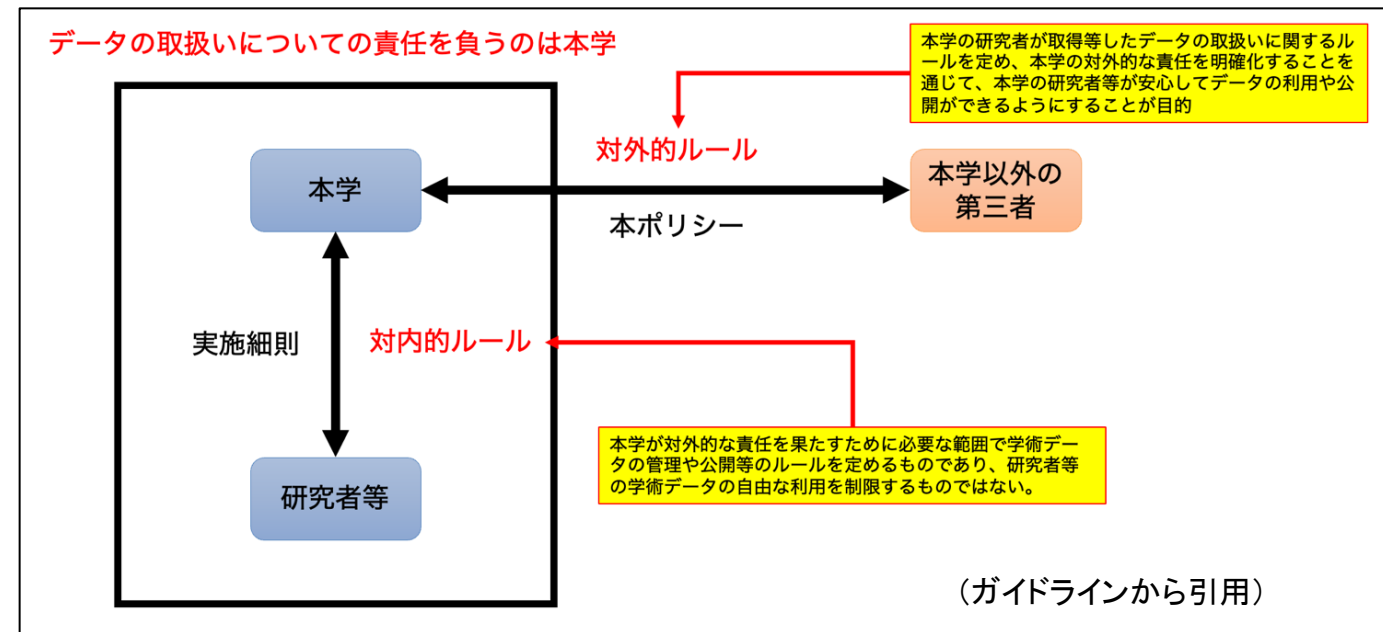
コンソーシアムとしての最終目標:

「金沢大学モデル」を構築し、北陸地区はじめ他機関に広く普及を推進する！

データポリシー改訂・周辺文書整備の骨子

知財分野に詳しい弁護士の指導の下で文書整備

- ▶ 「金沢大学学術データポリシー」(2024.7.5 改訂)
 - ▶ 国立情報学研究所(NII)版ポリシーをベースに、大幅改訂
 - ▶ 各条項の主語は「大学」(ポリシーは大学が提示するもの)とし、本学の対外的な責任を明確化
 - ▶ 「内部的な手続」は記載しない
- ▶ 「実施細則」(2025.3制定)
 - ▶ DMP作成の対象となるデータの定義
 - ▶ データ管理・公開等のルール
 - ▶ データ公開・提供時の手続き
 - ▶ 研究者の移籍・離籍時の手続き etc.
- ▶ 「ガイドライン」
 - ▶ データ管理指針の意図を解説



笠原ほか、https://doi.org/10.18919/jkg.75.9_465
情報の科学と技術, 75(9), pp.465-470, 2025

データポリシー改訂・周辺文書整備の骨子

知財分野に詳しい弁護士の指導の下で文書整備

▶ 「金沢大学学術データポリシー」 (2024.7.5 改訂)

文書制定指針

- ▶ 「大学が研究者を守るためのルール」であることを学内構成員に周知する
- ▶ 医療情報・個人情報を含むデータにも対応可能な規則・手順
→ これにあてはまらないデータは拘束しない
- ▶ 「法的にはデータの所有権が存在しない」ため、契約等に基づくデータ利用条件(第三者提供、利用目的etc.)を規定できる仕組み作り
- ▶ 研究者の活動を阻害しない、教員・職員双方の業務をいたずらに増やさない(スモールスタートから始める)

確化

取扱いに関するル
明確化することを
データの利用や公

(用)

情報の科学と技術, 75(9), pp.465-470, 2025

OSSを活用した 金沢大学 研究データマネジメント体制図

福井大・金沢医科大にも導入予定
→ 多くの大学に導入可能な汎用性を追求

研究担当理事

研究基盤統括本部（本部長：学長補佐（研究力強化担当））

2025
新設

研究データ
マネジメント
統括部門

研究データマネジメント体制の設計及び運用・管理

タスク1 金沢大学 研究データマネジメントポリシーの運用・改訂等

タスク2 RDMに関する問い合わせ対応／相談窓口

タスク3 オープンサイエンスシステムの管理／運用

三位一体

実効的ルール

GakuNIN RDM

ワンストップシステム(OSS)

オープンサイエンスシステム（2025/4より運用中）

（研究データマネジメントプラン（DMP）の適切な 管理 → 利活用 → 公開）

（研究開始）

（研究中）

（研究終了）

DMPの提出

DMPの修正

研究データの保管

研究データの共有

研究データの公開

タスク4

タスク5

タスク6

タスク7

タスク8

タスク9

DMPの保管

サーバ利用申
請受理／保管

研究データ
格納サーバの
メンテナンス

データ分譲

データ公開に
向けた点検

データ公開

制度設計

連携

連携

連携

連携

研究推進部

情報推進室

研究推進部
学術情報課

学術情報課

オープンサイエンスシステム（OSS）ガイドページの整備



<https://dri.w3.kanazawa-u.ac.jp/oss>

金沢大学 オープンサイエンスシステムガイド

- メニュー
- OSSを使う場面
- 使い方（研究者用）
- 使い方（担当職員用）
- データポリシー
- オープンアクセス
- 退職・転職・転入時
- FAQ
- 学術データ管理基盤システム
ARCADE2

金沢大学オープンサイエンスシステム（OSS）を使う場面
クリックすると説明にジャンプします。

DMP（データマネジメントプラン）対象学術データは、以下の3つの場合です。OSS「研究開始前」からDMPを提出してください。

- 学術データを公開する場合
(特許公開等の予定がある場合を含む)
- 学術データに個人情報が含まれる場合
- その他本学が指定する条件にあてはまる場合（FA義務）

FA(Funding Agency):
研究資金提供機関

GakuNin RDMを用いてデータ管理を行う場合、OSS「データ管理」からサーバ利用届を提出してください。

「論文発表後」から登録申請すると、論文情報と予算情報が紐付いてKURAに登録されます。

オープンアクセスの3つのメリット

- 1 より多くの人に論文を読んでもらえる
- 2 より多くの論文が引用される
- 3 研究成果の共有の促進
→ 学際研究・イノベーション創出
→ 社会貢献

データ公開等をする場合、OSS「データ公開」から各届出を提出してください。（学術論文、学会発表を除く）

非制限公開

- 公開: データ公開届出
- 制限公開: データ公開届出

制限共有

- 共同研究先: 共同研究先
- 共同研究先: 共同研究先

提供

- 提供先: 提供先
- 提供先: 提供先

- OSSを使う場面
- OSS TOP Page (English ver.)
- 非制限公開・制限公開・制限共有・提供とは
- 発表論文と研究予算を紐づけたい場合
- 内閣府ーオープンサイエンス:学術論文等のオープンアクセス化の推進公的資金による研究データの管理・利活用などー
- 北陸研究データ基盤コンソーシアム
- 系統的に「研究データ管理」を勉強したい方へ

- ・ ポリシーの説明のみならず、**OSSに従えば、ルールを守れるように設計**
- ・ メールによる問い合わせ窓口も設定
- ・ FAQの充実させると共に、随時、**OSSガイドページを更新**
- ・ **英語版も整備**

AXIES2025 12/3 14:00～
「研究データマネジメントセッション」
長井ほか、で詳細発表あります。

御清聴ありがとうございました。

第6回 北陸地区学術データ基盤セミナー 2026/2/18（予定）